

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 28 年 12 月 2 日

計画の名称	1 能登～加賀～越前～若狭をつなぐ広域観光活性化計画									
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）			交付対象	石川県（福井県と連携）					
計画の目標										
温泉や優れた自然景観、歴史・文化施設など、数多くの観光拠点施設を有する石川県と福井県が密接に連携し、平成26年度金沢開業予定の北陸新幹線や小松空港、北陸自動車道等の交通結節点と観光拠点施設間、または観光拠点施設同士を相互に連絡する広域的な周遊観光ルートを整備することにより、観光交流人口を増大させ、地域振興を図る。 また、両県が連携して、より広域的な観光PRを実施することで、広報活動の効率化を図る。										
計画の成果目標（定量的指標）										
【石川県・福井県 共通目標】 観光客数の増加率										
定量的指標の定義及び算定式										
						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
						当初現況値	中間目標値		最終目標値	
① 【福井県・石川県 共通目標】 観光客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - H20の年間観光客数) / (H20年間観光客数)						(H20)	(H24末)	(H26末)		
						0%	10%	16%		
② 【石川県 目標】 高速ネットワーク確保率 (高速ネットワーク確保率) = 評価時点の整備済路線延長 / 「ダブルラダー結いの道」整備構想指定路線延長						(H20)	(H24末)	(H26末)		
						77%	81% (4ポイント増)	84% (7ポイント増)		
全体事業費	合計 (A+B+C)	14,478百万円	A	14,174百万円	B	百万円	C	304百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.1%
事後評価										
○事後評価の実施体制、実施時期										
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期					
石川県において評価を実施					事業完了後					
					公表の方法					
					石川県ホームページで公開					
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			・加賀産業開発道路の唯一の2車線区間が解消され、沿線の木場潟公園やいしかわ動物園などの施設では大幅に観光客が増加した。 ・（主）鶴来美川インター線の整備により、狭隘区間を避けて美川ICと白山麓地域を直結されたため、移動時間の短縮により、白山麓地域の観光施設への誘客へつなげることができた。							
II 定量的指標の達成状況		指標①（観光客数）	最終目標値	16%	目標値と実績値に差が出た要因	行楽シーズンの天候不順や高速道路料金割引の終了・縮小、貸切バスの運賃制度改定等により、平成26年度の観光客数増加率は目標値に届かなかった。 （しかし、平成27年春に北陸新幹線が金沢で開業したため、観光客数増加率は21.6%となり、目標値の16%を達成している）				
			最終実績値	6.1% (H27 21.6%増)						
		指標②（高速ネットワーク確保率）	最終目標値	84%	目標値と実績値に差が出た要因					
			最終実績値	82.8% (H27 83.3%)						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)			・福井県と連携した広域観光協議会を設立し、県を跨ぐイベントも開催している。							
3. 特記事項（今後の方針等）										
・平成27年2月の能登自動車道（七尾氷見道路）の開通や平成27年3月の北陸新幹線金沢開業など、石川県では新たな高速交通ネットワークの整備が進展することから、その効果を県内全域へ最大限波及させるためにも、道路整備を進め、観光誘客につなげ、地域の活性化を図る。 ・石川・福井の両県には多くの歴史的遺産や豊かな自然景観を活かした観光施設が多数存在していることから、これらの観光施設までのアクセス道路を整備することにより、移動時間を短縮させることで更なる観光誘客につなげることができる。										